

令和6年度 千葉市生活支援コーディネーター

稲毛区 第1層協議体

テーマ：高齢者のサードプレイス

～高齢者のいきがいとなるような居場所とはどんなところか～

1 概要

日 時：令和7年2月13日（木）
13：30～15：00
場 所：稲毛保健福祉センター

2 目的

稲毛区内企業の地域貢献・地域交流の取り組みを知り、生活支援体制整備事業に活かすことの可能性を探る

3 参加団体

計：7団体（企業3・行政・あんしんケアセンター・社協・SC）24名
・株式会社伊藤園・株式会社ZOO・株式会社ルネサンス・あんしんケアセンター・行政（高齢障害支援課・地域づくり支援課・健康課）・社会福祉協議会・生活支援コーディネーター

4 協議体設置に至った経緯

コロナ以降、フレイル状態となった高齢者が増加し、この地域課題解決のために地域住民や関係機関・団体と連携を図ってきた。

更なる解決に向け、地域貢献や地域交流に取り組んでいる区内の企業などと連携し、住み慣れた地域で、高齢者がいきいきと過ごせる新たな居場所（時間）を創出することで、その人にとってのいきがいやフレイル予防・介護予防にもつながると考え協議体を設置した。

5 内容

①生活支援体制整備事業における生活支援コーディネータの役割と、協議体設置理由について説明

②稲毛区に拠点を置く企業4社（・株式会社伊藤園・株式会社ZOO・株式会社ルネサンス・イオン稲毛店※今回欠席）の地域貢献、地域交流の取り組みについて発表

③高齢者にとって、いきがいとなる場所について意見交換



高齢者がいきいきと過ごすには、フレイルの予防が重要！

■ココロの拠りどころとなること

- ★話し相手・相談相手がいる
- ★生きがいが見つかる
- ★社会の役に立つ
- ★不安の解消

■サードプレイスになりうる場所

- ◎多世代交流ができる
- ◎カフェのような場所
- ◎自由に行き来できる
- ◎趣味を活かせる



🔗 企業との連携によって、生まれる相乗効果

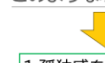
企業の地域貢献・地域交流の取り組みを活かす

- ★イベントの開催
- ★出張講座
- ★空きスペースの活用
その他…



- ◎地域の活性化
- ◎高齢者市場の拡大
- ◎高齢者支援の拡充

このような場所の活用により…



- 1. 孤独感をつくらない
- 2. 社会との接点をもつ
- 3. 心身が健康になる

結果…

心身が健康になれば、介護・フレイルになりにくくなる。

楽しい

意欲の向上

継続



意見交換では、SCから提案した地域課題について話し合った。

1. 健康促進プログラム

転倒防止・健康維持のための講座

2. 高齢者の交流と地域の活性化

多世代との交流、認知症カフェ等

3. 生活支援について

ゴミ問題、スマホ教室

6 結果

お茶の魅力



ZOZOの広場



オフィスが竣工する半年前より、直とZOZOが繋げ得としてZOZOの広場を開場しました。
今後はレンタルスペースやイベントなども開催する計画となっております。
ZOZOの社員と街の方々がお茶コミュニケーションをとれる環境を創出しています。

【介護予防】地域介護予防活動支援事業（年間140以上の自治体様 1,000教室以上受託）

介護予防・日常生活支援総合事業
実施において考えられる課題別

1. 地域の現状に合わせて、事業内容、対象などを見直ししたい
「どんな地域にしたいのか、事業内容、対象をどうするか」を明確にしたい。
2. 実施する人材、実施者が足りない
「実施する人材、実施者が足りない」を明確にしたい。
3. 実施するための施設を確保したい
「実施するための施設を確保したい」を明確にしたい。

これらで対応するため、2つの施設以上の
実施施設があるサービスがおすすめです。

介護予防・日常生活支援総合事業
一般介護予防事業
介護予防活動支援事業
介護予防活動支援事業
介護予防活動支援事業
介護予防活動支援事業

介護予防・日常生活支援総合事業
介護予防活動支援事業
介護予防活動支援事業
介護予防活動支援事業
介護予防活動支援事業

【稲毛店】周年祭 販促イベント 産・官・学の『官』

『大・健康測定会』
presented by 稲毛区・花見川区・美浜区『いきいきプラザ』
千葉市感染症対策課・ポッチャクラブ3388・イオン薬局

初日の10/18(金)、平日にもかかわらずたくさん多くのお客さまにご利用いただきました
骨密度・脂年齢・血管年齢・血糖値測定・ガム咀嚼・ポッチャ体験など参加窓口を広げた企画

■伊藤園

- ・お茶のセミナー
- ・生産型見学会（茶畑の見学会）
- ・親子で行うお茶の栽培

■ZOZO

- ・地域交流のためのスタンプカード
- ・次世代との交流
- ・ZOZOのひろば、ZOZOスタジオを地域へ開放

■ルネサンス

- ・ジム内での高齢者同士のコミュニケーション
- ・介護リハビリ事業による健康プログラムや出張講座
- ・地域住民向けのイベントの開催

■イオン稲毛店

- ・今回は欠席となったが、連携を取れるよう情報共有を図っていく。
- ・後日、協議体の報告で訪問し、今後、イベントなどの可能性について話し合うことができた。

■協議体を通じ、地域貢献や地域交流を取り組む企業とフレイル予防を中心に「健康増進」「多世代交流・地域参加」「生活支援」について共通理解を深めることができた。

また、企業とあんしんケアセンター、生活支援コーディネーターが協働し、居場所づくりの一環とした健康に関する講座や高齢者支援に結びつくイベントなどの資源創出の可能性を見つめることができた。

6 今後に向けて

令和6年度協議体を終えて、引き続き企業との連携を図れるよう、第2層SCと検討を重ね、高齢者の社会参加や健康維持・促進に繋がるよう働きかけを行っていききたい。4月より、情報共有が図れるよう定例会への参加や、出張講座やイベント創出に向けて、第2層SCとともに準備を進めている。今年度の協議体においては、その成果の報告やその他の団体との連携を広げていけるよう推進していききたいと考える。

7 担当

稲毛区 第1層生活支援コーディネーター
【TEL】043-284-6160
【所在地】〒263-8550 千葉市稲毛区穴川
4-12-4 稲毛保健福祉センター内

千葉市生活支援コーディネーター

千葉市
ホームページ